

港湾振興特別委員会

日 時 令和4年3月14日（月）
午前10時00分から
場 所 全員協議会室

議 題

I 報告事項

- 1 港湾関係に係る重点事業要望について (港湾・観光課 資料1)
- 2 伏木富山港のコンテナ取扱量について (港湾・観光課 資料2)
- 3 新湊大橋開通10周年・海王丸パーク開園30周年記念事業について (港湾・観光課 資料3)

II その他

1 港湾関係に係る重点事業要望について

No	令和4年度重点事業要望 要望項目	新・継・再
1	伏木富山港新湊地区（富山新港）における港湾施設の適切な維持管理及び長寿命化の推進について	継続
2	伏木富山港新湊地区（富山新港）の港湾機能の強化について	継続
3	伏木富山港新湊地区（富山新港）東西埋立地の環境整備について	継続
4	伏木富山港新湊地区（富山新港）東西埋立地交流厚生用地等への民間事業者等の誘致について	再要望
5	海岸事業の整備促進について	継続
6	津波防災対策の推進について	継続
7	日本海側拠点港（外航クルーズ部門）選定港の優先的整備について	再要望

これらは、今年度、国・県に対し令和4年度要望として提出したものである

伏木富山港新湊地区（富山新港）における港湾施設の適切な維持管理及び長寿命化の推進について（継続）

国	国土交通省港湾局
	北陸地方整備局
	伏木富山港湾事務所
県	土木部港湾課
	富山新港管理局

伏木富山港新湊地区（富山新港）は昭和43年の開港以来、半世紀以上が経過しています。本市の基幹的な物流拠点として、また、日本海側屈指の貿易港として、富山県はもとより北陸経済圏の発展に大きく貢献してきました。

昨今、社会資本の老朽化に係る問題が顕在化している中、高度経済成長期を中心に集中的に整備された富山新港においても、老朽化に伴う港湾機能への支障が懸念されることから、安全・安心な港湾機能の確保が求められています。特に防波堤（波除）については、立入禁止措置が実施されており、早急な安全性の確保が求められています。

つきましては、港湾の機能維持、船舶等の事故防止、港湾施設背後における被害軽減の観点から、港湾施設の定期点検・定期修繕等、計画的かつ適切な維持管理及び長寿命化の推進について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
予防保全事業 防災・安全交付金事業	富山新港	国・県	既存施設の維持管理及び長寿命化

位置図



伏木富山港新湊地区（富山新港）の港湾機能の強化について（継続）

国	国土交通省港湾局
	北陸地方整備局
	伏木富山港湾事務所
県	土木部港湾課
	富山新港管理局

伏木富山港新湊地区（富山新港）では、船舶の大型化への対応や荷役作業の効率化のため港湾機能の強化が図られ、令和元年6月には、外貿コンテナ貨物を取り扱う国際物流ターミナル延伸整備が完成となり、地域の安定した企業活動が確保されるなど、早期の整備完成にご配慮いただいたところであります。

このように着実な港湾機能の向上が図られている中ではありますが、中央ふ頭では、近年、船舶が大型化する中、岸壁の水深不足に起因する滞船が発生しており、非効率かつ不経済な荷役・輸送形態が生じていたため、令和元年度より岸壁の大水深化・ふ頭の再編整備が着工されています。

また、国際物流ターミナルでは、コンテナヤードの拡張をはじめ、さらなる港湾機能の強化が必要と考えています。

さらには、震災時における太平洋側港湾の代替機能を確保するため、大型船舶の受入れを可能とする暫定水深の解消も求められています。

つきましては、国際拠点港湾として早期の機能充実を図り、地域産業の国際競争力強化を図る観点から、事業の推進に格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
港湾改修事業	中央ふ頭	国・県	既存岸壁の大水深化（水深14m、L=280m） ふ頭の再編（岸壁、ヤード）
	国際物流ターミナル	国・県	水深12m岸壁の延伸整備（3万トン級のコンテナ船の2隻同時接岸に対応するもの） コンテナヤードの拡張 暫定水深の解消（12m→14m）

位置図



伏木富山港新湊地区（富山新港）東西埋立地の環境整備について（継続）

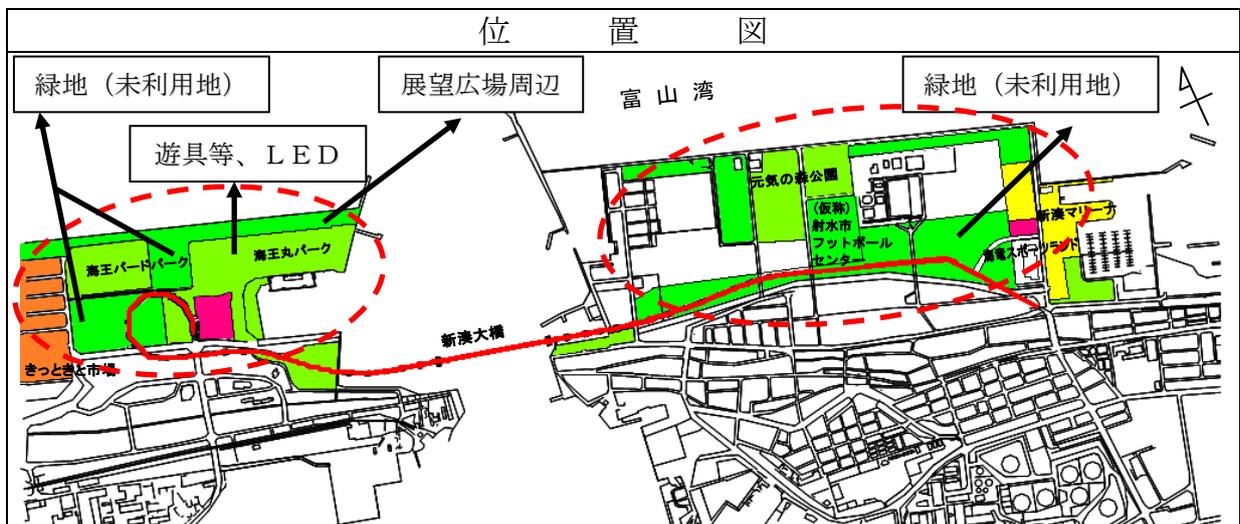
国	国土交通省港湾局
	北陸地方整備局
	伏木富山港湾事務所
県	土木部港湾課
	富山新港管理局

富山新港東西埋立地では、これまでも県内有数の観光施設「海王丸パーク」や「元気の森公園」、「新湊マリーナ」等の整備が行われてきました。

また、現在、東埋立地では、本市においてフットボールセンターを整備することとしており、令和3年度末の完成を予定しています。

つきましては、東西埋立地において一層の魅力向上に繋がるよう、既存施設と連携した緑地（未利用地）整備など、引き続き、東西埋立地の環境整備について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
社会資本整備総合交付金	西埋立地 (海王町)	県	緑地内の遊具やドッグラン等の整備
			展望広場周辺を含む未利用地の景観・環境整備
	東埋立地 (海竜町)	県	LEDイルミネーション整備・照明施設の更新
			既存施設と連携した緑地（未利用地）の有効活用と景観・環境整備



伏木富山港新湊地区（富山新港）東西埋立地交流厚生用地等への民間事業者等の誘致について（再要望）

県	地方創生局 観光振興室
	土木部 港湾課
	富山新港管理局

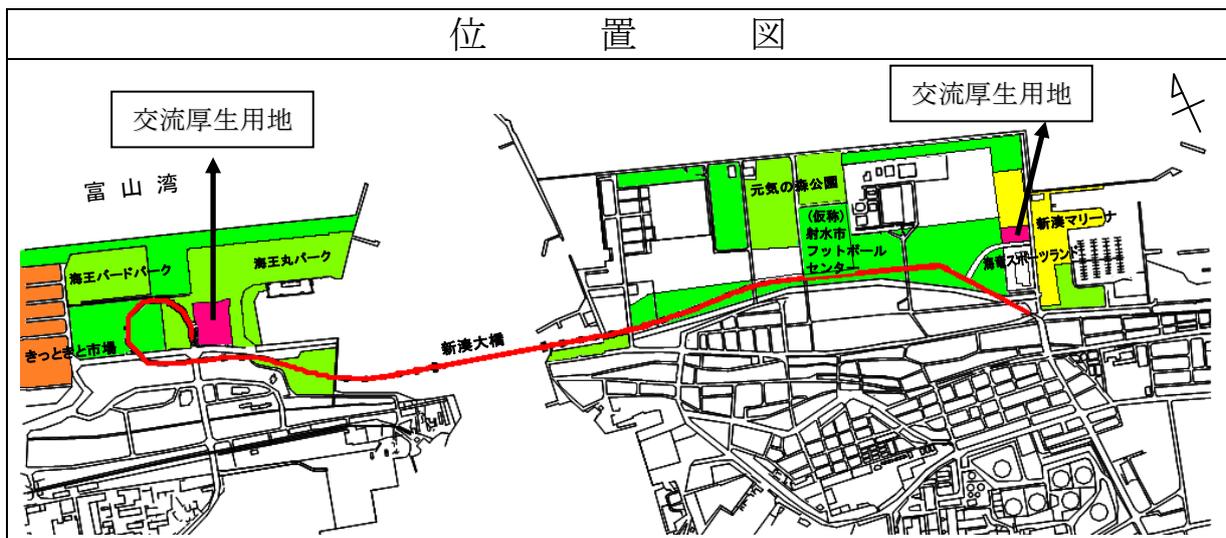
射水ベイエリアには、県内有数の観光施設「海王丸パーク」や日本海側最大の保管隻数を誇る「新湊マリーナ」が立地しており、また、「富山マラソン」の開催のほか、令和元年には、富山湾では初の国際ヨットレース「極東杯国際ヨットレース」が開催されるなど、多くの来訪者による経済効果がもたらされています。

現在、射水ベイエリアにおいて未利用地となっている交流厚生用地等の活用は、この経済効果を継続・発展させるために大変重要であり、市としても宿泊施設の立地に対する助成金制度を設けるなど、民間事業者の進出・誘致に積極的に取り組んでいます。

また、東埋立地では、本市においてフットボールセンターを整備することとしており、周辺未利用地への立地の機運も高まってきています。

つきましては、個性に満ちた活気あふれるまちづくりを進めるため、東西埋立地未利用地の利活用に対する柔軟な対応と誘致活動への連携・支援をいただくよう格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
未利用地（交流厚生用地等）の利用促進	西埋立地（海王町）	県	活性化に向けた施策（事業者誘致等）
	東埋立地（海竜町）		



海岸事業の整備促進について（継続）

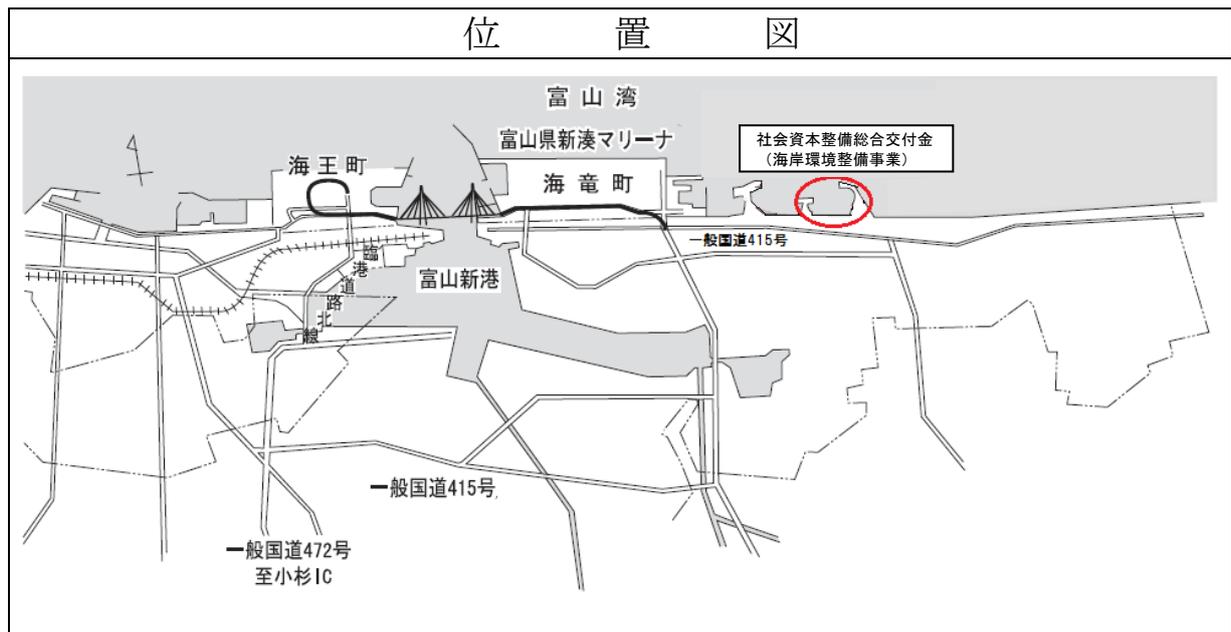
国	国土交通省港湾局
	北陸地方整備局
	伏木富山港湾事務所
県	土木部港湾課
	高岡土木センター

射水市東部沿岸地域は、新湊マリーナ、海竜スポーツランドといった富山県を代表する海洋レジャー施設が立地するとともに、隣接する海老江海浜公園では一部が海水浴場として利用され、賑わいのある交流空間を形成しています。

しかしながら、寄り回り波や冬季風浪による侵食が著しいことから、これまでも離岸堤、海岸堤防、消波ブロックなどの整備が進められてきたところですが、今後も安全に多くの人を楽しむことができる空間とするため、引き続きの整備が求められています。

つきましては、社会資本整備総合交付金による海岸事業の促進、海老江海浜公園の更なる魅力向上に繋がるような東側背後地の早期整備について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
社会資本整備総合交付金 (海岸環境整備事業)	海老江地先	県	背後地整備

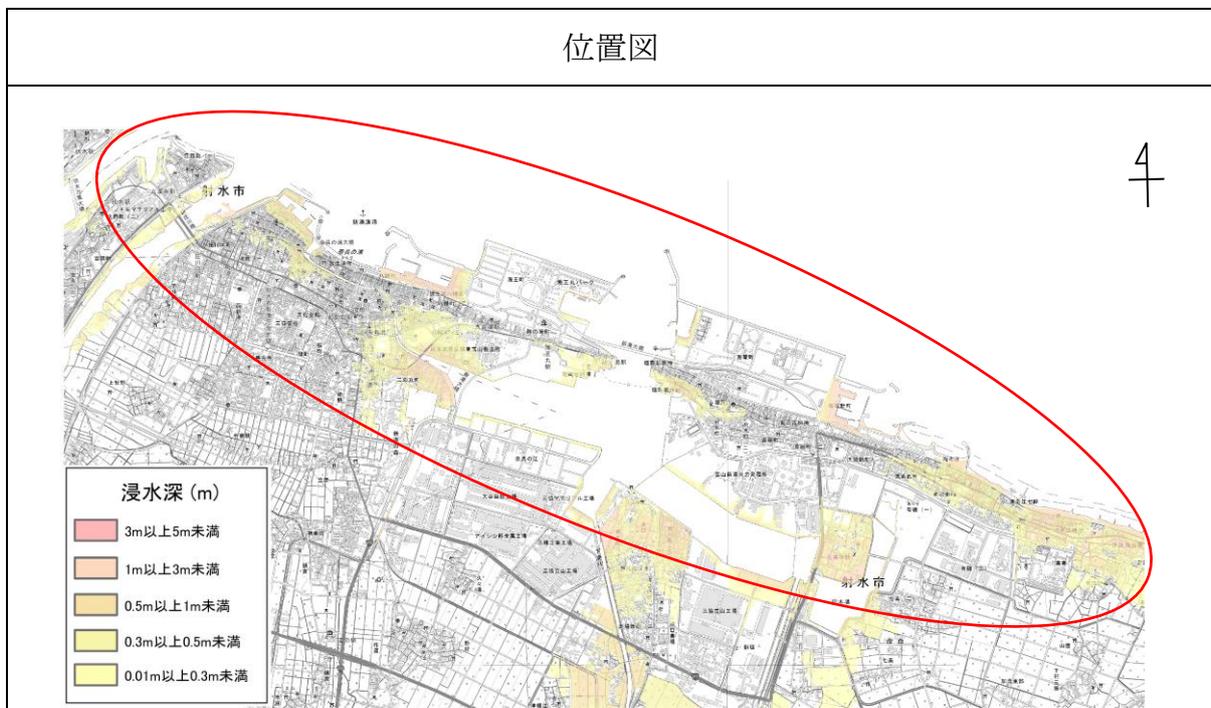


津波防災対策の推進について（継続）

国	国土交通省 港湾局
	北陸地方整備局
	伏木富山港湾事務所
県	土木部 港湾課
	農林水産部 水産漁港課

富山県が平成29年2月14日に公表した津波シミュレーション調査の結果によると、富山湾西側の断層（2つの断層の連動を想定）を震源とした地震による津波を想定した場合、本市には最大4.2メートルの津波が7分で到達するとされています。本市としましても、地域のコミュニティセンターを避難場所に指定したり、津波ハザードマップを作成するなど、ハード・ソフトの両面において対策に取り組んでいるところですが、このような短い時間での避難は不可能であり、被害を最小限に抑えるため、堤防等の海岸保全施設の強化、拡充が不可欠であると考えています。

つきましては、防災リスク低減の観点から、海岸保全施設の整備について格別のご配慮をお願いいたします。



日本海側拠点港（外航クルーズ部門）選定港の優先的整備について（再要望）

国	国土交通省港湾局
	北陸地方整備局
	伏木富山港湾事務所
県	地方創生局観光振興室
	土木部港湾課
	富山新港管理局

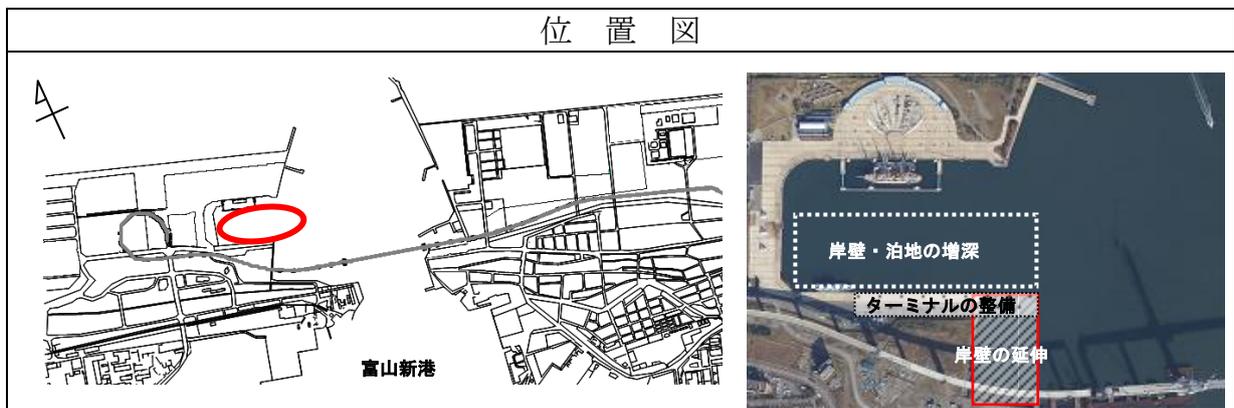
伏木富山港新湊地区（富山新港）にある旅客船バース（海王岸壁）は、隣接する海王丸パークとともに、人々が交流し賑わいを創出する港湾施設として活用が図られています。

本市としても、日本海側拠点港の更なる賑わい創出のため、外国のクルーズ船にも視野を広げ、小型（3万トンクラス）のクルーズ船を中心に旅客船会社等に対し積極的に誘致活動を行っているところです。

クルーズ船の大型化が進む中、中型や小型のラグジュアリー船の需要も高まっており、本市としても、中型船（5万トンクラス）に対応した岸壁の整備とともに、外国人観光客をスムーズに受け入れるターミナル及び背後地の整備が急務となっています。

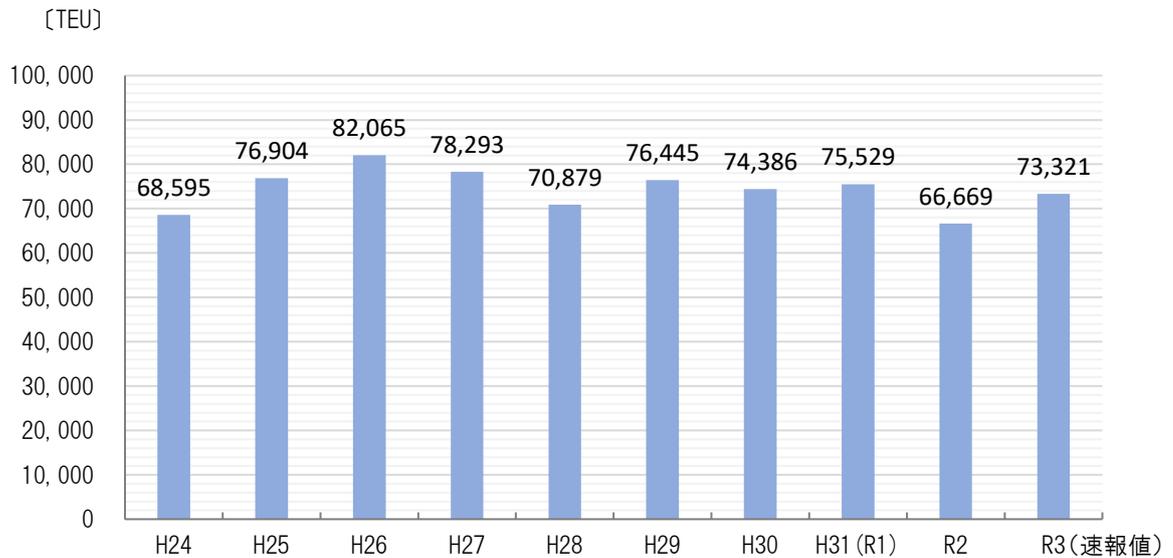
つきましては、富山新港の旅客船バース（海王岸壁）の今後一層の活用を図れるよう、日本海側拠点港（外航クルーズ部門）に選定された港の優先的整備を行い、併せて、国内外の客船誘致活動についても格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
港湾改修事業	海王岸壁	国・県	ターミナルの整備 岸壁・泊地の増深 （水深7.5m→9m） 岸壁の延伸・背後地整備 （岸壁220m→280m）



2 伏木富山港のコンテナ取扱量について

年別コンテナ取扱個数（外貿＋内貿）



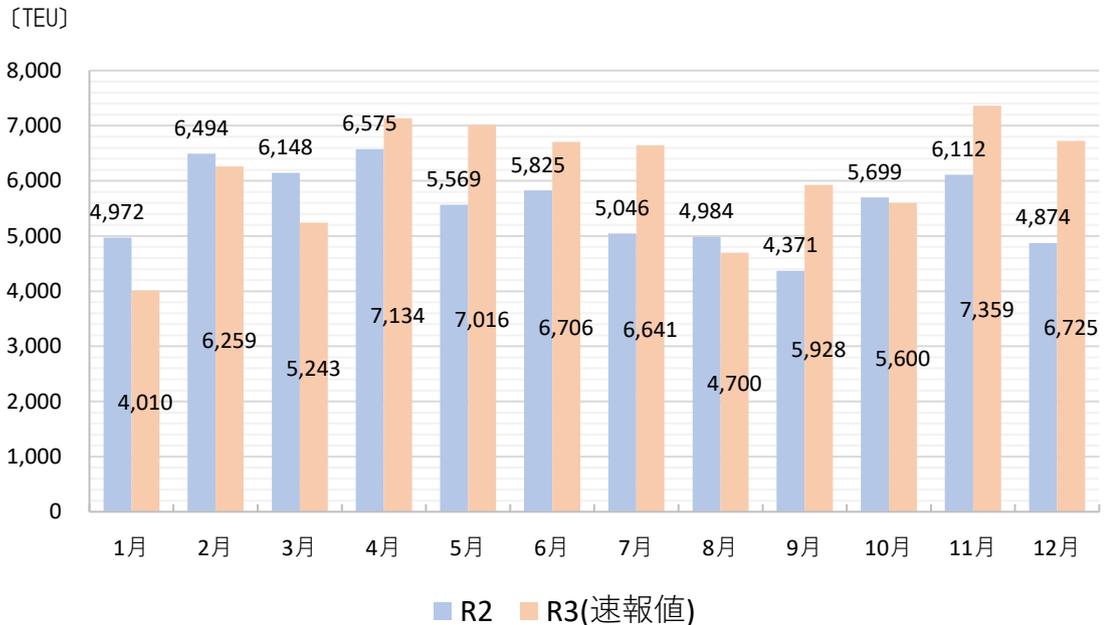
伏木富山港における R3（速報値）のコンテナ取扱個数は、R2 と比較して 10.0%の伸びを示しており、回復基調にあると考えられる。

現在集計中であるが、輸出では「紙・パルプ」、輸入では「非金属鉱物」が増加傾向にある。

	H24	H25	H26	H27	H28
コンテナ取扱個数 (TEU)	68,595	76,904	82,065	78,293	70,879
対前年比 (%)	-5.1	12.1	6.7	-4.6	-9.5

	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3 (速報値)
コンテナ取扱個数 (TEU)	76,445	74,386	75,529	66,669	73,321
対前年比 (%)	7.9	-2.7	1.5	-11.7	10.0

コンテナ取扱個数（外貿＋内貿）の同月比較



1～3月が対前年同月を下回った原因として、

- ・世界的なコンテナ不足などが原因で海上運賃が上昇したこと
- ・輸出先のトランシップ（積み替え）港である釜山港で、コンテナ貨物の混雑が発生したことなどが挙げられ、これらにより船や空コンテナの確保に支障をきたしたものと考えられる。

船や空コンテナの確保に係る問題が全て解消されたわけではないが、4月以降は対前年同月を上回る月が多くなり、回復基調にあると考えられる。

[単位：TEU]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
R2	4,972	6,494	6,148	6,575	5,569	5,825
R3(速報値)	4,010	6,259	5,243	7,134	7,016	6,706
対前年同月比	-19.3	-3.6	-14.7	8.5	26.0	15.1

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R2	5,046	4,984	4,371	5,699	6,112	4,874
R3(速報値)	6,641	4,700	5,928	5,600	7,359	6,725
対前年同月比	31.6	-5.7	35.6	-1.7	20.4	38.0